

## 奈良労働基準監督署における建設業の災害防止活動について

奈良労働基準監督署管内では、平成26年に休業4日以上労働災害が640件で対前年比7.7%の増加、本来あってはならない死亡災害も8件で対前年比4件の増加となっています。特に建設業においては、平成26年に死亡災害が4件発生し、対前年比3件の増加となっており、憂慮すべき事態です。

上記の状況を受け、奈良労働基準監督署では、死亡災害の撲滅・労働災害の減少の取組を下記のとおり、実施しています。

### 記

#### 1 建設工事関係者連絡会議の開催について

奈良労働基準監督署は、建設業における労働災害を防止活動の一環として、建設業の発注者機関等（市町村等及び関係団体）に対して、「建設業工事関係者連絡会議次第」を開催しました。

奈良労働基準監督署からは、署長、今西次長、西川課長及び川上技官が参加し、労働災害防止について、説明を行いました。

- (1) 日時 平成27年5月12日 午後1時30分から午後4時
- (2) 場所 公立学校共済組合 春日野荘
- (3) 内容

まず、署長から、開催の挨拶の後、今西次長から標題「労働災害につながりやすい法違反について」として、労働災害が発生しやすい労働安全衛生法違反等について解

説の後、小さな違反の放置が大きい労働災害につながる等の説明を行いました。

川上技官からは、標題「労働災害発生状況」として、奈良局内及び奈良署管内において、労働災害が増加しており、死亡災害も増えている事等について説明を行いました。

西川課長からは、標題「発注者の配慮事項等」として、建設工事発注に際しての安全衛生の配慮について説明を行いました。



(会議の様子。熱心に聞いて頂きありがとうございます。)



(署長)



(今西次長)



(西川課長)



(川上技官)

## 2 建設現場への集中監督の実施

熱中症等の災害が多く発生する6月に集中的に建設業の現場指導を実施します。

御協力よろしくお願い申し上げます。